

愛知県

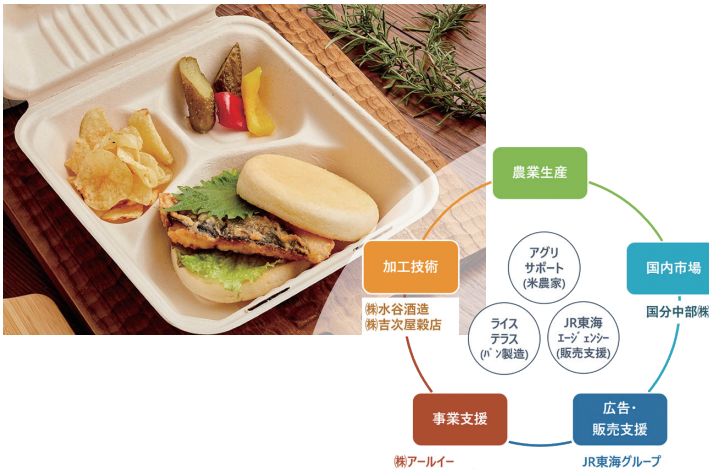
事業所管：愛知県農業水産局農政部食育消費流通課
地域事務局：株式会社パナソニック農援隊

LFP パートナー数

107 社・団体
(2023.3 現在)

● 県産米で地域の食文化「モーニング」の新スタイルを創出

食料自給率の低下、食物アレルギー等の社会問題に対応するため、多様な業種のもとで県産農林水産物の幅広い活用可能性を検討し、新商品開発を通じて新たなビジネス及びスタイルを創出する。



県産米 100% の米粉パンやケーキを開発、毎日の食卓に米を取り入れる新スタイルを提案。

新たなビジネスの価値

- 食料自給率の向上を図るため、県産の米や食材を活かした新しい食体験を提案する。米粉パンに、県内の特産品・食文化と組み合わせたご当地名物のモーニング（朝食）を広める。
- LFP パートナーの販売チャネルを活用して、地域の食材や食文化を発信し、地域のにぎわい創出につなげる。

プラットフォームの体制

- 地産地消を掲げて生産者団体、スーパー・飲食店など流通関係者、消費者団体に至る幅広いネットワークを構築する「いいともあいち」及び「あいち6次産業化ネットワーク」を軸に、愛知県内外の食品製造事業者、調理師学校、商品化支援やプロデュースを行う専門家等が参画。

米や野菜などの農業生産者、県産野菜加工や米穀加工などの食品製造業者、食品商社、商品開発や販路支援等を行う専門家、広告代理店、製菓調理専門学校など。

新しい取組・仕組みづくり

- 県産米の用途を米食以外に広げる観点から、愛知県独自の食文化とのコラボ、特徴的な文化である「モーニング」への提案などを行い県産米粉の製造から米粉パンの製造流通まで県内でのサプライチェーンの構築に取り組む。

ビジネス創出のプロセス

- グループワークで、地域資源・強みを活かしたビジネスアイデアを検討。プロフィールシートを作成して各社の資源や事業アイデアを可視化するとともに、個別面談やオンライン会合の機会を設けて、パートナー間の交流・連携を促進した。
- 米粉パンを県内で生産・流通するサプライチェーンの構築に向け、取組を発信してビジネスパートナーの掘り起こしに取り組んだ。



LFP パートナーがもつ販売チャネルを活用し、一般消費者向けに店頭でテスト販売を実施。